



恒例の丸太切り

鳥取県の米子市にて「第3回山の日全国大会」に参加してきました。鳥取県のマスコットキャラクターであるトリピーの帽子をかぶっての活動

子どもたちは元気に山の中を駆け巡って遊び、川で生き物を追いかけてきました。山川の生き物を捕まえてはガイドの先生に生態を聞き、生物の多様性をまさに五感で味わっています。「多様な生き物がいるのは山が綺麗で豊かだから！山は綺麗にしないとダメなんだ！」と理解してくれている子どもの姿をみて、とても嬉しかったです。

もうひとつ記憶に残ったのは「くむんだー」という木のジャングルジムです。相手仕のような仕組みで、

面白かったのは、時間内に積み木を高く積み上げたチームが勝ちというものです。積み木の大きさや形に違いがあり、積み上げ方やどの積み木を選ぶかによって勝敗が決まり、発想力も試されていました。



ジャングルジムを作って誇らしい子どもたち



森の恵でつくったおもちゃ

みどりの女神が行く！



竹川 智世 (たけかわ ちせ)

みどりの女神として野外イベントに参加すると、必ずと言っていいほど設置されている体験ブースがあります。それは丸太切りです！私もだんだんコツがわかり、スピードが速くなってきました。そろそろマイのこぎりを用意してもいいのではないかと思う次第です。

各地の自然系イベントに参加！
たくさんの子どもの笑顔とふれあいました

かながわトラストみどり財団さん主催の「やどりき水源林の森」に参加してきました。森林×川辺でのイベントはいつもと違う新鮮な雰囲気でした。

でした！そのお陰もあり、子どもたちといつも以上に打ち解けられた気がします！
大山開山1300年に寄せた、市民や子どもからのメッセージボードには「いつもおいしい水や食材をありがとうございます」というメッセージが多かったです。山と聞いてパッとこの言葉がでてくるのが、都会との違いだと感じます。山の近くに住んでるからこそ、山の恵みへの感謝を忘れない、米子市の皆さんの気持ちに心が暖かくなりました。このような認識が広がるように頑張りたいと思います。

大人も子どもも楽しめる
「木とのふれあい祭」に参加

埼玉県木材協会さんの「木とのふれあい祭」に参加してきました。

今回のイベントは珍しく、木材所、北浜市場で行われました！

祭の中でも一番見ていて面白かったのは、時間内に

細長い木の板で簡単にジャングルジムを作ることができます。組み方はなんと清水寺の舞台と同じでも頑丈！しかも組み立てから片付けまで全て子どもが行なっておりまして！
子どもたちがよく遊び、よく学ぶ姿を見て、木に触れることの楽しさや良さを改めて実感した夏でした。山も都市も関係なく、木育がどんどん広がってほしいなと思いました！